

野の花館だより

2011/秋号 / No.61

夕方のすず風に虫の音が秋の気配を感じさせます。昼間の残暑はいつもより厳しい気がするのは年のせいでしょうか？何とも残念なお知らせがあります。まだまだ信じられない事なのですが、当法人の代表伊藤心平氏が6月30日に急逝いたしました。38歳という若さです。(4,5ページ特集)

たった1日の熱発の後の事です。本業の染織、趣味の演劇、野の花館の仕事にも一杯やりかけを残しての昇天です。でも現実にこんなこともありなんです。本人が一番心残りを悔いているのではないのでしょうか。残されたもの同士なんとか支えあっていきますので、安らかに眠りください。

5月8日には第12期定期総会を開催、この日が私達の会った最後の心平さんでした。

ミールコンサートを高鍋未来づくり事業に指定して頂き、延期になっていた、第26回ミニコンサートから始まって町内の介護施設(4か所)を回り始め喜ばれています。子ども夢基金の助成を受けて、毎月第2土曜日の野の花文庫を復活、夏の平和を考える集いには紙芝居作家松井エイコさんの講演も感動のうちに終わりました。秋企画いろいろ開きは第27回ミニコンサートです。ぜひ皆さんお気軽にお出掛けください。

高鍋未来づくり事業

町中にミールの音楽を！！

小さい人たちと高齢者に！！

第27回野の花館 (ミール)コンサート開催

ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗) ピアノ(稲田由香里)

とき・2011年11月3日(祝)

13:30開場 14:00開演 参加費 大人 500円 子どもは無料

(ミール)ミニコンサート開催 ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗)ピアノ(稲田由香里)

9月15日(木)10時半~	第4回慰問コンサート	なでしこ保育園
10月31日(月)10時半~	第5回慰問コンサート	わかば保育園
11月10日(月)10時半~	第6回慰問コンサート	めいりん保育園
11月14日(月)10時半~	第7回慰問コンサート	メゾン・こもれび
11月17日(木)10時半~	第8回慰問コンサート	一真持田保育園
12月1日(木)10時半~	第9回慰問コンサート	にっしん保育園

12月23日(祝)クリスマスコンサート(高鍋美術館ホール)

13:30開場 14:00開演

参加費 大人 1000円

平成23年度子ども夢基金助成事業・平和を考える集い2011と文庫活動

9月10日(土)10:00~ 染色教室 秋色に染める

10月8日(土)10:00~ みそ作り教室・・・麴づくり

10月15日(土)10:00~15:00・みそ作り教室

11月12日(土)10:00~ 読み聞かせと紙芝居

平成 23 年度子ども夢基金助成事業・平和を考える集い 2011 と文庫活動

野の花文庫・6月11日(土)10時~

郷土料理教室・冷や汁、野菜のてんぷらほか

すごい雨になってしまったが子どもたちはとても元気
みんなで冷や汁を作り、天ぷらを揚げて、頂く。
人参葉が人気があり、野菜は畑から直送のものをあげて
おいしかった。天気が悪くて集まりも悪かったが子どもの
元気に励まされる。



野の花文庫・7月9日(土)10時~読み聞かせと紙芝居

読み聞かせ 畑でどうも・みるなのくら

11匹の猫とあほうどり

紙芝居・天人のはごろも

くろずみこたろう

まめっこひろってぼんぼんぼぼ-ん



第17回平和を考える集い2011... 8月20日(土)



* 松井エイコさんの「平和」という大きなテーマに思いを込めた読み聞かせ、紙芝居、そしてお話は私たち自身が次の世代に伝えていかなければならない大切なことでした。

僕が幼いときに見た戦争の写真や映像は「恐怖」としか感じませんでした。

子供たちに大事なことを伝えるときに紙芝居というフィルターを通して戦争の「恐怖」ではなく「安らぎ」や「自然」という伝えたいところが伝わる感じでした。とても素敵でした。ありがとうございました。 中島 大

* 今回の講演会に参加させていただいて、まず感じたことは、紙芝居自体はほんの短い時間だけれどそれにこめられた歴史的背景や松井さんの思いには、ものすごいものがあると感じました。

経済学者であった祖父の投獄、子どものころ歯医者さんの待合室で見たベトナム高校生の殺害グラフィック写真に衝撃を受けたこと、沖縄で視察したガマのこと、などいろいろな思いが込められ出来上がった「二度と」だったんですね。そして、母の松井のりこさんの「あの日の空の青を」を読んでさらにその思いを深めました。この本の中で特に心に残っているのは、踏み絵 というところですね。投獄されている夫がのりこさんの目の前で憲兵隊に強制的に日の丸に最敬礼させられるところですね。その後、日の丸の掲揚が義務化される時に彼女が叫んだ言葉、「いや！私は絶対にいや！」です。 日野原義文

* 大昔、生きることに精一杯だった時代にもかかわらず人間は壁画を描いた。それは、きっと人間に必要なことだったからだ、と松井さんがおっしゃった言葉が残りました。長い歴史の先っぽに私たちは生きていて、松井さんはこの現代の壁に向かって「平和」を描いています。きっと平和を紡ぐたくさんの人が描かれていることでしょう。私もそのなかに描かれる一人でありたいと思いました。 井上志保

* 先週の土曜日、野の花館で講演会がありました。松井エイコさんの講演です。題して、『未来と平和を輝かせよう』～平和紙芝居にこめたもの～内容さながら、松井エイコさん自身に惚れ惚れとする講演でした。先日このころのフォーラムでも感じたのですが、お話いただける方々のピカピカした光に圧倒されるというか、何だかお話を聞くだけで、参加するだけで、自分までも浄化される気分でした。

今回のエイコさんといい、先日のフォーラムの山口先生といい、パネラーをつとめていただいた方々といい、一所懸命、真摯に、人に何かを伝えようとする時のオーラは、何とも言えないですね。私も必死にがんばっている時、ああいった風に輝いたりすることのできているのかな？とか、ちょっと自分についても考えてみたり…。いろいろ端会brig

* 直接には戦争を知らない世代の松井エイコさんの戦争の酷たらしさを平和を守る大切さをなんとかして伝えようとの懸命な想いに心打たれました。又、戦争と平和を書きならべ、それぞれ連想する言葉を会場のみんに問う場面では、様々な言葉が出ました。たとえば戦争では、怖い、恐ろしい、殺し合い、残酷、苦しい、戦車、武器、理不尽など。平和では、喜び、幸せ、豊か、穏やか、安心、ノーサイドなど。当然のことながら、双方のイメージの明暗がくっきりとあぶり出されたようで、とても分かり易い図式で上手な伝え方だな、と感心しました。

戦後66年、日本は一度も戦火を交えず、戦闘の犠牲者も出してはいません。が沖縄基地の問題は以前として続いていますし、経済最優先の結果、様々な社会問題が生じています。戦争がないだけでは、平和であるとは言えないでしょう。誰もが安全に安心して心豊かに幸せに暮らすことのできる真の平和は、決して誰かがもたらすものではなく、私たち一人ひとりが平和な世の中をつくり出す努力をして、それをしっかり守っていかなくてはならないものだ。とあらためて心に刻んだことでした。エイコさんのお話を聴きながら、思い浮かんだ言葉がありました。それは戦後、平和教育の重要性を一貫して主張された金沢嘉市さんが、事あるごとに子どもたちに語っておられたというつぎの言葉です。「もう絶対に戦争はしてはなりません、一つしかない命、命を大切にしましょう。戦争はキライ・キライ・イヤです。」とはっきり言える人になりましょう。もうひとつ、70年代後半、有事立法に反対して、再び戦争への道を許してはならないと短歌で訴えた石井百代さんの「徴兵は命がけでも阻むべし、母、祖母、おみな牢に満つとも」でした。

永野欣子



* この夏の暑さは何なんだろうといったときの間、静かな野の花館で、木々が風でカサカサ、サワサワする音を聴き、うちわをパタパタしながら他愛もないおしゃべりするうち、暑さを忘れてしまう。こんな時を平和だなあというのだろうか？

八月、平和を考えようということで、松井エイコさんの優しいお話を聴くことになった。戦争、平和を各々がどのように思っているか、戦争については原爆、こわい、恐ろしい、不安、家族……。平和について笑顔、笑い声、暖かい、家族、安心……。と年代によって、考え方、おもいの違いがあり、大切なことを考える機会になった。戦争が始ま

った1930年ごろに生まれた祖父母、そして父母、自分、子供、孫、ひ孫とその時、どんな思いで生活をし、子どもを育て、老いて行き、孫、ひ孫の時代になった2011年8月、遠い昔の事ではないのに、大切に育ててくれた親、兄弟、隣人友人、たくさんの人達に寄り添って生きてきたことを忘れないよう、平和について常に心に留めておきたいと思う。

野の花館に夢をいっぱい持った子ども達が、又いろんな思いを持った昔の子どもたちがたくさん来て仲間の輪が広がっていくことを願いながら、今年も沢山の笑顔や大きな力をもらい感謝の一日でした。黒木淑子

* 「平和紙芝居」に魅かれて久しぶりに野の花館を訪れました。縁側から入る風を心地よく感じながら、聴きました。3枚の扉が、1枚筒開かれ紙芝居が始まりました。1度にぱっと全体が見えないことも胸がわくわく膨らみ大きな魅力となり、とても新鮮でした。演じる松井エイコさんの言葉・言葉の音色・表情・体の動きで紙芝居の世界が野の花館全体に広がって行きました。松井さんは「紙芝居は共感の世界を創る」と言われましたがまさにそうでした。特に「二度と」を演じる松井エイコさんからは、平和を尊び、平和を希求する強い意志や行動力が全て溶け合っ、ある時は凛として、ある時は優しく、ある時は希望があふれんばかりに心に響いてきました。原爆により、突然に命を絶たれた何十万もの人々の「私も生きたい！生きたかった！！」という叫びが聞こえてくるようでした。でも最後の2枚の鳩が現れ大空に飛び立ったところで何かしら救われたようなホッとした気持ちに、つまれました。

講演が終わってすぐ松井エイコさんに駆け寄り、握手をさせてもらいました。そして、「二度と」の紙芝居を買い求めました。残り少なくなった教員生活ですが平和への願いを込めて、子どもたちにこの紙芝居を演じていきたいと思ひます。

荒川恭子

特集 心平さんをしのぶ・・・

在りし日の心平さん の文 フリマの女公演(劇団ゼロQ 独立記念公演)

みやざきアートセンタ - 開館記念事業・・・2010,3,20～22 プログラムより

宮崎市には城がない。だから演劇が栄えない。暴論と思われるかもしれないが、私のかねての持論である。宮崎市と人口規模のほぼ同じ30万人、岩手県盛岡市は、大変演劇が盛んである。市中心部には、盛岡城(不來方城)がある。盛岡の演劇が盛んなのは城のお陰だけとは言わない。直接的には、盛岡劇場などの使いやすい劇場があり、人材があることが要因であろう。しかし、もっと根源的な部分で、城は市民の心を支えている。

「城が精神文化の求心力を持っている」ということである。

城が市街地中心部に蟠踞しているのは、交通的には障害に違いない。しかし、そこに年降る林があり、啄木の歌碑などが建っている。街の精神的な核を成しているのである。中心市街地の空洞化は全国どこでも起こることだが、経済は空洞化しても、歴史を積んだ精神文化の無言の求心力は働いているのである。だからそこに人が集い、芸術文化が生まれる。城が無い宮崎の中心市街地の空洞化は、急速に進む。周辺に郊外型店舗を建設しやすい平坦地が多いのももちろん原因だが、やはり橋通りには精神的なよりどころとなるだけの求心力がない。今さら歴史は捏造できないのだから、もう橋通りに期待するのはよした方がよい。

・・・長い引用になったが、僕のブログにこう書いたのが5年前である。期待するな、と書いた橋通りにアートセンターが出来たのが昨秋。いわゆる「ハコモノ」ではあり、正直言ってこれで急に橋通りの商店街が活性化するとは思えない。しかし、あえて、私はこのアートセンターで演劇をやってみようと思う。コンクリートの生の臭いが残る、白くて真新しい空間。ここに私たちが最初の演劇の魂を吹き込もうと思う。

100年後に、ここが宮崎文化の中心地となり、「ここで最初に演劇をやったのは、ゼロQとかいう劇団だったらいいよ」と語り継がれるようになっていくことを、夢見つつ、

岡田 心平



* 演劇の台本を書くようになって十年たちました。きっかけは岡田心平くんのすすめによるものでした。これで最後、後はないと思いながら書いてきました。あまり自発性はないのです。それでも岡田くんとお芝居を作るのは私の夢でした。彼のまっすぐ、きりっとしたまなざしの先に私の理想とするものがあるようで、指針のようなものを感じるのです。彼の日頃の折り目正しさが、どんな演出を見せるのか楽しみです。そして彼のいるゼロQという劇団の新しい出発に立ち会えるのも喜びです。新鮮で刺激的な劇団に育ってほしいと思います。

今日、おいでくださったみなさん、ありがとうございます。宮崎で久しぶりの新劇団です。どうか、あたたかく、きびしく、迎えてください。

K/F

もう、この世にいない。

今朝、宮崎の劇団の代表Oさんが亡くなった。昨日から体調が悪くなり、会社を早退して自宅で休んでいたら夜中、尋常とは思えぬいびきをかき始め、驚いた奥さんが起こそうとしたところ、既に意識不明。慌てて救急車を呼んだが、そのまま今朝の6時に息を引き取った。なんとも理不尽な突然死。死因は心不全ということで片付けられたが、原因不明。一昨日の夜もみんな元気よく稽古をしていたという。我が身も宮崎に出向いて一緒にホットシーティングの稽古をしたのは、ほんの10日前(今月19日)。未だに現実が受け止められない。『29万の雫』という口蹄疫をテーマにしたドキュメンタリー・シアターを上演するのだと、穏やかな性格の彼は心静かに闘志を燃やしていた。稽古後の居酒屋でも酒を酌み交わし、どうしたらいい芝居になるか語り合った。その彼がもう、この世にいない。

人はホントに突然、死ぬんだね。ホントに突然、存在しなくなるんだね。まだ38歳という若さ。幼い4歳の子どももいる。今はただただ残念で、無念でしようがない。訳がわからないまま旅立たされた理不尽さに、奥さんの心中はいかばかりか。このぶつけようのない無常と腹立たしさを今はじっと受け止めるしかない。Oさんの情熱はしっかりと胸に刻みつけて。岡田心平君、心残りは山とあるだろうが、どうぞ安らかに。 T/Kの「老い日記」より

* 心平様のあまりにも突然のご逝去に接し、ただただ驚いております。つい先日まで、あなたのこれからの綾の事や、今年の工芸まつり三十周年の企画について、何回も熱く語り合ってきましたね。これからという時に、誠に残念でなりません。あなたの思いも込めた素晴らしい工芸まつりにしたいと思います。どうか天国から見守り下さい。

あなたのこれまでのご交誼に感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。お見送りできなくて残念です。

兵庫県姫路市個展会場より ガラス工芸作家 K/K

野の花館 岡田心平さんをしのぶ会様

心平くん、古風でどこか昔気質で、律義なあなたと出会えた事を誇りに思います。深い優しい眼差しで、いい声で、賢くてスマ - トで、はにかみ屋の貴方が大好きでした。

社会派岡田心平作・土呂久の芝居を観た時「やられた」と思いました。その時、野の花館の柱になる人だと思いました。心平くん、私達が頼りすぎたのかな？いい人すぎたのかな？優しすぎたのかな？度量が広すぎたのかな？今更思います。何故神様はこんなに早く私達から心平くんを取り上げたのか。また改めて思います。貴方の素晴らしい三十八年の足跡を、濃密な心平くんの歴史は激しく波乱にみち、大輪の花を咲かせた。三年前の「月光の夏」で、二人きりの共演が最初で最後になりました。あの時、夏勢くんが役者・岡田心平を認め、賞賛した。あれから新たな演劇の火がまた燈った。人の何人分もの濃い人生を送った心平くん。私は、私達は忘れない、貴方を。そして貴方が愛した妻と子と染織の仕事と野の花館と。そして演劇の火を…繋いでいきます。心平くん、ありがとう。

S/K

伊藤美穂子様

素晴らしい藍染のタオルをお返しに頂いてもうしわけない気持ちです。でも心平くんをまざまざと思い浮かべました。僕は数年前、野の花館で講演したあと、工房によって、藍染めのシャツを求めました。これで心平くんゆかりの大切な品が2つになりました。

僕は自由の森学園の数学授業で何度も心平くんと出会っています。静かで口数は少ないのに存在感のある生徒でした。上記の講演が終わったとき、内容は算数教育のことだったのに、「松井さんがなぜ自森の設立を志した人だったかがわかりました。僕たち卒業生も社会人になってきたので、学園を支えたいです」といってくれました。

こんな素晴らしい教え子がなぜこんなにも早くに奪われてしまうのでしょうか。どんなに考えても納得できません。悲しい限りです。でも悲しみを乗り越えて彼の志を胸にしまって生きていこうと、僕は自分に言い聞かせてます。どうかあなたも生き抜いて下さい。

元自由の森学園高校教頭 M/M

心平くんは埼玉の高校の先輩でした。そして宮崎に住んでいる唯一の先輩でした。

同じ空気の中キャンパスライフを過ごしていた人なので、たまに会うとほっとして懐かしい暖かい感じになりました。そして、いろんな事に真面目に取り組む姿を見て その時の自分を見つめなさせてくれる存在でもありました。いろいろと絡んで繋がっていきかけたなあ…

心平くん、

たまに僕のところへも現れて励ましに来て下さいね。これからもよろしく。

自由の森学園 後輩 D/N

夫、心平の葬儀の際には、たくさんの方々に心を寄せていただきありがとうございました。又、野の花館では「偲ぶ会」まで開いて頂き、本当に幸せなんだと思えました。生前はお世話になりました。本当にありがとうございました。 伊藤美穂子

年度末までに心平さんをしのぶ1冊を作りたいと思っています。

どうぞ皆様の想いをぜひ指先に託しておよせください。8ページの連絡先宛てにお願いします。

育児だより *伊藤兄弟*

伊藤 美穂子

9月になり、夏勢は12歳、友樹は5歳になった。

とつぜん亡くなってしまった父親をどう受け止めたらいいいのかわからないまま、月日だけが流れて行く。事実は事実として受け入れるとしても否応なしにおこる環境の変化には、ついていけないものがある。しかしそれにもそのうちなれるはずだ。とりあえず今日1日をのりきってしまえば、明日が来る。夏勢は、時折、涙を見せつつも母を気づかい、健気に頑張っている。

読書をすることで気持ちを切り替えたり、自分の心を守ったりしているのかなと思う。友樹はことばで悲しみを表現する代わりに体調や行動に出してしまうようだ。せき、じんましん、・・・・

しかし、二人は大丈夫だと思う。なぜなら、心平の子だから。自分の好きなことを見つけ、たくましく生きて行くにちがいないと。父親の生きざまを二人は一番間近で見ていたはずだから。

井上姉弟

井上 志保

こんにちは。フウ(10歳)とあさたろう(7歳)の母親です。今年の夏、我が家のテレビは観られなくなり、長年使用してきた炊飯器も春には壊れ、クーラーはすでに何年も前に壊れ、狙わずしてあまり電気を使わない生活を送っています。そして気づいたことは、なくても本当に何の不自由もない、ということ。静かになって、穏やかな風が吹く我が家で、子ども達も私ものんびり本を読みました。90%以上は漫画ですけど！そのうち娘は新聞を読むようになりました。新しい首相就任の記事をみて、「私は原発をやめるといっていたこっちの方がいいと思うけど・・・・。」と初の主体的コメント！やった～！息子は、ボキャブラリーが増えました。おいしそうなナスがあったので、私がナスのスープを作ったら「おいしい。でもナスがしょぼくれている。」とコメント。しょぼくれたナス！確かに、せっかくのツヤツヤのナスが、皮は灰色で身はクタクタで..

かんきつ姉弟

金丸 智子

あー、やっと長い夏休みが終わった。今年こそは海や川に遊びに行こう！とおもっていたのだけれど、なんだかんだと色々あって、たいしてどこにも行かなかったなあ。ただ千夏の宿題が少しだけ余裕をもって終えられたのだけは良かったと思う。

この夏はやっぱり陸上中心で、結果として県4位という、琴音にとっては不本意な成績に終わった。3年通して一度も表彰台にはのれなかったな。それはとつても残念。でも頑張ったオマケなのか、国体選抜の合宿には参加できたし、親の方が舞い上がった。楽しい想いをさせてもらえてありがとう！だな。高校行っても走るのは続けたいそうなので更なる高みを目指して頑張れ。

千夏は仲良しの子といっぱい遊んだ。遊んでもらった。沢山の人達に支えてもらって感謝です！親子劇場の演劇ワークショップに参加してすごく楽しかったって。私の知らない所でどんどん成長するのねえ。嬉しいんだけど、ちょっと淋しいかなあ。近々発表があるので、それを楽しみにしておこう。

長男は長い長い夏休みが続行中。待つしかないのだろうけど、ついつい焼きもきしてしまう。まあ、やりたいことをやってくれ。

朔は、ヘタレちゃんネタが次々に。小学校の運動会の案内がきたけど、一人で走ることが不安。合唱の本番も出ないらしい。ちーっとはかっくい姿が見たいんだけどなあ。それでも少しずつは強くなってるから、それで良いのかもなあ。まあ、いっぱい笑かしてくれ!!

たかなべ未来づくり事業

第27回ミールミニコンサート 7月23日(土)

曲目

アヴェ・マリア・・・カッチーニ 夏の思い出 ダンス(ピアノソロ)・・・ドビュッシー
レチタティーヴォとスケルツォ(Vn.ソロ)・・・クライスラー 追憶(ピアノソロ)
タイスの瞑想曲・・・マスネ 子供の夢・・・イザイ 中国の太鼓・・・クライスラー
ロンドンデリーの歌(クライスラー編曲) ウィーン風小行進曲・・・クライスラー
ヴァイオリンソナタ第3番第1楽章・・・グリーグ ミケランジェロ 70・・・ピアソラ
序奏と華麗なるポロネーズ・・・ショパン 見上げてごらん夜の星を
ヴォカリーズ・・・ラフマニノフ

*いつもおだやかな気持ちにさせていただきます。 T/E
*美しい音楽を、2時間もお聴かせ頂き、ありがとうございました。忘れ難い一日となりました。
演奏なさったお2人に心から感謝申し上げます。 S/M 78歳
*いつも気にとめていながら雑用に追われ伺えませんでした、久しぶりに参りました。
お2人のやさしい演奏に心まで癒されました。これからもお元気に頑張ってくださいネ。
又、伺えるのを楽しみにしています。本当にありがとうございました。 M/T
*客が少なく残念だけど、気楽に名曲がきけるとことはとてもいいです。演奏も素晴らしいので、
大変でしょうがずっと続くといいですね。高鍋のホールでやってほしいです。

K/N 66歳

- 8月8日(月)10時半～第1回慰問コンサート
グループホーム遊友
- 9月1日(木)10時半～第2回慰問コンサート
しゃちんぼの濱デイサ-ビスセンター
- 9月5日(月)10時半～第3回慰問コンサート
グループホームすいせん高鍋
- 9月15日(木)10時半～第4回慰問コンサート
なでしこ保育園



中国の太鼓・夏の思い出・ヴォカリーズ・少年時代
ロンドンデリーの歌・ウィーン風小行進曲等
リクエスト・アンコール等に応じて心温まるコンサート
でした。ありがとうございました。

野の花館に来てみて・・・

*野の花館・・・名前を聞くだけでもホッと何かしら安心します。

建物を見て、癒されるのでまた、伺いました。一人ではもったいなくて、連れと来ました。

お茶、ごちそうさまでした。 日向市 Y/K (58歳)

*昔からの歴史の重みを入館した時に感じました。こちらの沢山のもようしを是非機会があれば

私も参加したいと思いました。遠方からですが時間が合えばまた、参ります。

門川町 M/H (55歳)

いろいろばた会 / 毎月第3火曜日 19:00より 次回9月20日(火) 19:00～

8月6日(土)高鍋町美術館で「こころのフォーラム」・・・講演、パネルディスカッションを通して、自殺の実態や予防策について理解を深めた。町内外から約50人が参加し、アンケートの回答も25通もあり、関心の高さをうかがわせた。

事務局日誌より

6/10(金) 19:00～6月定例会
6/11(土) 10:00～郷土料理教室(冷やし汁など)
6/21(火) 19:00～第18回いろいろばた会
7/9(土) 野の花文庫開催・紙芝居等
7/19(火) 19:00～第19回いろいろばた会
7/23(土) 14:00～第26回ミ-ルコンサ-ト
8/6(土) 13時30分～自死予防フォーラム 町主催
8/8(月) 10:30～慰問コンサ-ト G・H遊友
8/10(水) 19:00～8月定例会
8/20(土) 16:00～松井エイコ講演会「未来と
平和を輝かせよう」平和紙芝居に込めたもの
9/1(木) 10:30～慰問コンサ-ト しゃちんぼの濱
9/5(月) 10:30～慰問コンサ-ト GHすいせん高鍋
9/10(土) 10:00～染色教室大人20人子ども15人
14:00～9月定例会
9/15(木) 10:30～慰問コンサ-ト なでしこ保育園

これからの予定

9/20(火) 19:00～第21回いろいろばた会
9/26(月) 10:30～11:00 GC助成申請団体説明会
10/8(土) 10:00～麹づくり
14:00～10月定例会
10/15(土) 10:00～15:00みそ作り
10/18(火) 19:00～第21回いろいろばた会
10/31(月) 10:30～慰問コンサ-ト わかば保育園
11/3(文化の日) 13:00～いろいろびらき
第27回ミ-ルミニコンサ-ト
11/10(木) 10:30～慰問コンサ-ト めいりん保育園
11/14(月) 10:30～慰問コンサ-ト メゾンこもれび
11/17(木) 10:30～ 々 一真持田保育園
11/15(火) 19:00～第22回いろいろばた会
8/6(土) 13時30分～自死予防フォーラム 町主催

野の花館へのご支援感謝します!

2011年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(11.6.1～11.9.5.受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

池田育子、石崎諭・春江、井手泰子、伊藤ミユキ、井上志保、いろいろばた会、上杉賢親、上野多佳子、岡山勇、梶原やす子、片淵貴嗣、勝山架人、川南幼稚園、北川義男、木下昌子、金海純子、黒田宏、國生美奈子、児玉正文、桜井喜美江、佐藤登貴子、佐藤亮、里見照子、杉田良子、杉谷洋子、杉本和宏、曾我恭子、高橋裕子、高畑保、高山小児科、竹嶋寛・道代、千住ミツ子、遠田辰芳、友成昌亮、永井悦子、永井寛子、永井賤子、永岡まつ子、永崎翠、長友早苗、永野欣子、西尾保子、西田守、人形劇団のはな、野田直子、則松久夫、則松美恵子、則松康郎、蓮野典子畠中恵子、濱崎恵子、林真美、前弘之、松井エイコ、松葉サチ子、松丸まき子、松本考育、丸山暁美、峰瑞枝、宮崎中央新聞社、ミ-ル、宮沢厚、木内里美、山口敦子、
早々にご納付 ありがとうございます。

2011年度分会費(賛助会費2000円)未納の方、納入宜しくお願ひします。

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

特定非営利活動法人 野の花館

phone & fax: 0983-23-0701

Eメールアドレス: nonohana_tknbb@ybb.ne.jp

URL: <http://nonohanakan.com>